

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立鍋島小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童（生徒）の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童（生徒）一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童（生徒）の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和6年4月18日（木）

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

■ 調査の内容

（1）教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童（生徒）に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、 基本的な生活習慣、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、 学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

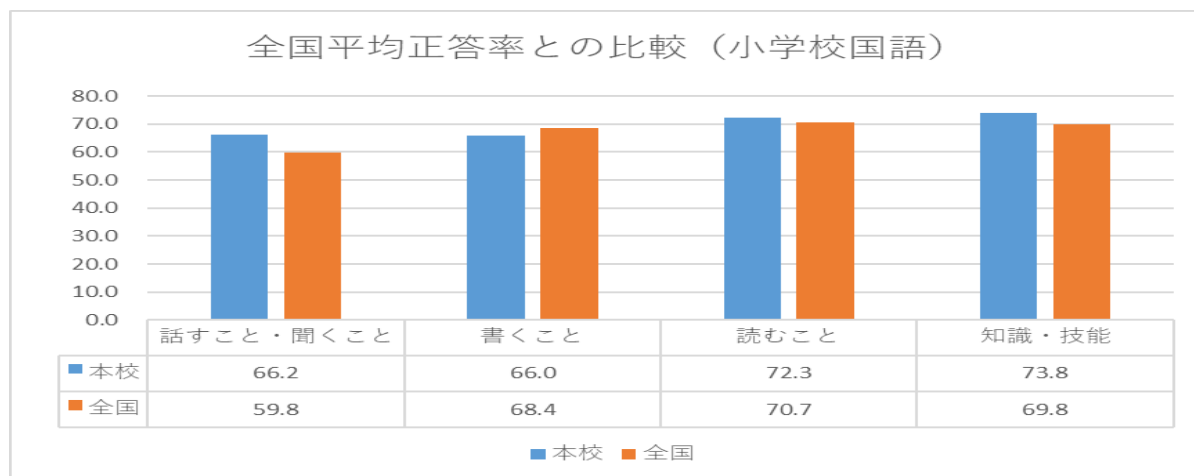
■ 調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国 語

(1) 結 果



全体の正答率は、71%で全国の平均正答率を3.3ポイント、県を5ポイント上回っています。「話すこと・聞くこと」の正答率は66.2%で全国平均正答率を6.4ポイント上回っています。「知識・技能」の正答率は、73.8%で、全国平均正答率を4ポイント、「読むこと」の正答率は72.8%で、1.6ポイント上回りました。「書くこと」は、66.0%で全国平均正答率を2.4ポイント下回りました。

(2) 成果と課題

今回の調査では、中でも、「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にして話す」問題では、全国平均を大きく上回りました。普段から、国語の授業では、自ら立てた問いの解決のために、少人数での話し合いを継続的に取り組んでいる成果が表れていると考えられます。課題は、問題形式の「記述式」の正答率を上げることです。特に、条件に沿った記述の正答率は、全国平均正答率を下回っており、苦手になっている児童が多くいます。内容に関する条件や記述に関する条件、また条件の数など、日々の授業の中で、様々な条件に沿いながら書く活動を仕組んでいくことが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

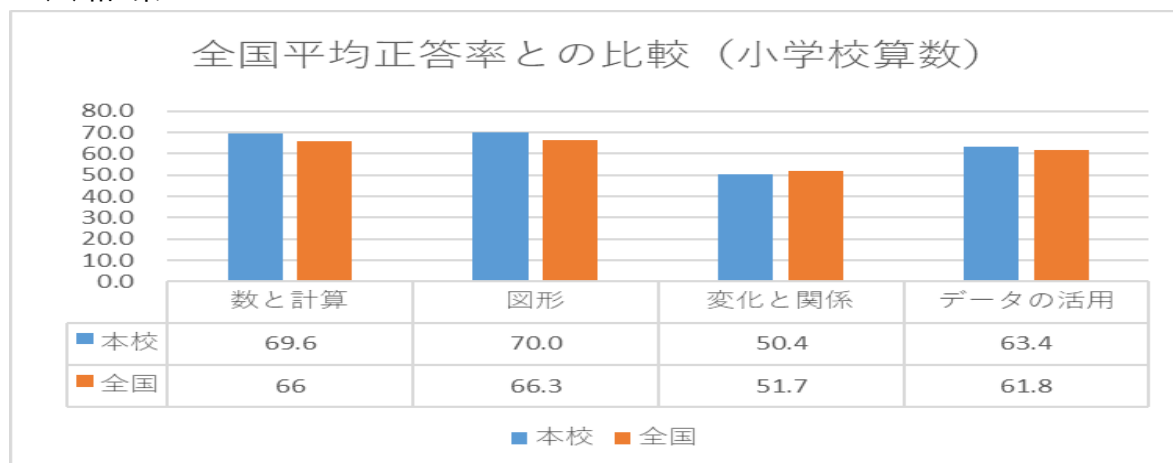
- 問題文を読むときには、印付けを習慣化できるよう継続して指導しています。
- 単元ごとに身に付けさせたい力を明確にし、ゴールの言語モデル向かって、思考操作を行い、自ら立てた「問い」を解決していくことで、児童が主体的に学べるようにしています。
- 「問い」の解決のために、友達との交流を行う際には、根拠となる言葉や文章を明らかにしながら、深く学んでいけるようにします。
- 与えられた条件に合わせて文章を書いたり、単元ごとに、学んだことやこれからの学習で生かしていこうとすることを200字前後でまとめる「コンパクトライティング」に取り組んでいます。

【ご家庭では】

- お子さんのノートや教科書、宿題を見て学習の様子を把握し、ぜひ会話してください。文章問題では、印付けをするようにお声掛けをお願いします。音読の宿題への取り組みを引き続きお願いします。頑張っているところをほめていただくと自信につながると思います。
- 学期ごとに行っている「レベルアップカード」では、お子さんの家庭学習の様子をご確認し、コメントをお願いします。

2 算数

(1) 結果



全体での正答率は、66%で全国平均正答率より2.6ポイント上回っています。領域別では、「数と計算」、「図形」、「データの活用」では、全国平均正答率を上回っていますが、「変化と関係」の正答率は、50.4%で、全国平均正答率を1.3ポイント下回っています。記述式での正答率は、52.5%で、全国平均正答率より1.5ポイント高いですが、無回答率の割合は1～2ポイント高くなっています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「数と計算」や「図形」での短答式の問題や記述式の問題の正答率が高くなっています。普段から、基礎的な知識問題や計算問題などにタブレットなどを活用しながら繰り返し取り組んでいることや、授業の中で、自分の考えを図・式・言葉を使って筋道を立て説明したり、分かったことをもとに自分の言葉でまとめたりしていることの成果が表れていると考えられます。

課題は、「変化と関係」の領域の速さと道のりと時間の関係やその意味に関する記述問題です。公式として、速さと時間、道のりの関係を覚えるだけではなく、式を線分図で表したり、線分図を式に表したり、表した考えを説明し合う活動が重要であると考えます。

特に、児童同士が学び合う中では、共通点や相違点などにも注目し話し合うことで、より深い学びにつながると考えます。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 問題文のキーワードや表、グラフの数値など、問題解決に必要な数や言葉に印を付けるだけでなく、必要な数や言葉を書きこんだりすることで、文章を正しく理解できるように指導します。
- 自分の考えを図や式、言葉を使って表し、友達に説明する機会を増やすことで、論理的思考力の向上に努めます。
- 算数用語を正しく覚え、使うことができるように繰り返し指導します。○算数の学習の内容を生活の場面に関連付けて、指導する機会をつくります。

【ご家庭では】

- 計算ドリルや宿題プリントへの取組から、お子さんの理解を知ることができます。印付けができていないか、大事な条件を理解しているかの確認も併せてお願いします。
- 保護者の方からの称賛や励ましの言葉はお子さんの学習意欲向上につながりますので、宿題など、ぜひ定期的に目を通して、言葉掛けをお願いします。
- 買い物や料理、ドライブなど、身の回りには算数の学習内容と関連している事例がたくさんあります。学んだことを日常生活で活用することで、さらに理解を深めることができます。お子さんと一緒に問題を考え、それを解決してみる機会をつくってみてください。どのように答えを導き出したのか、お子さんが説明することができるとうすばらしいです。

3 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果 [成果(○)と課題(●)]

※「している」「どちらかといえばしている」の割合

《主体的な学習について》

質問番号	質問内容	鍋島小	県	全国
17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	83.8	76.7	75.8
20	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。	89	82.7	80.7
29	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。	61.8	61.7	67.6
30	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	89	82.9	81.9

児童の意識が良い方向に高まってきていることから、本校の取組の成果が徐々に表れていると思われます。友だちタイムで、対話的な学びを積み重ねていくことで、互いの意見を認め合う関係性が生まれ、主体的に取り組むようになってきています。資料などを使って、工夫して発表することに課題があると考えます。

《家庭での様子について》

質問番号	質問内容	鍋島小	県	全国	
1	朝食を毎日食べていますか。	94. 8	93. 4	93. 7	
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	89	84. 3	82. 9	
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	94. 9	92. 1	91. 6	
	普段（月～金）1日あたり1時間以上勉強している。	2時間～	24. 3	18. 6	23. 5
		1時間～	34. 6	28. 8	31. 1
5	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。	3時間～	14	21	20. 7
		1時間～ 3時間	28. 7	30. 8	30. 4

「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムは身に付いているようです。また、家庭学習については全国平均とはほぼ同等ですが、まだ1時間未満の児童が4割以上いました。かなり個人差が見られるので、「家庭学習レベルアップ週間」などの取り組みを活用し家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。携帯電話等でのSNSや動画視聴の時間は、全国平均より短いですが3時間以上の児童もいます。

《その他》

質問番号	質問内容	鍋島小	県	全国
36	先生は、わかるまで教えてくれていると思いますか。	97.1	90.1	87.9
11	将来の夢や目標を持っていますか。	80.2●	83.2	82.4
13	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。	99.2	96.8	95.9
14	困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	72.8	64.7	67.1
15	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	100	96.8	95.9

「わかるまで教えてもらえる」「困ったら相談できる」という回答が県や全国平均を上回っており、学校や教師に対して安心感をもっている児童が多くいることが分かります。「いじめはいけないことだ」と答える児童が県や全国平均を上回っています。「人の役に立ちたい」と答えている児童は全国平均並みに高い数値ですが、将来の夢や目標といった具体的な将来像を描いている児童は県や全国平均を下回っています。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 規則正しい生活の大切さについて引き続き指導していきます。
- 将来なりたい自分を考えさせ、キャリア教育の充実に引き続き取り組んでいきます。
- 授業で学んだことを他の学習や生活に活用することを考えさせ、活用力、向上につなげていきます。
- ICT機器の家庭での活用がこれから進んでいくと思います。目標やルール、使い方を確認し、家庭と学校が連携していきます。